

2026年（令和8年）3月吉日

保護者のみなさま

藤沢市立大清水中学校
校長 山下 尚子

2025（令和7）年度 学校評価の結果について

昨年末に実施しました学校評価について集計が整い、学校運営協議会での報告が終了しましたのでお知らせいたします。ご協力をいただきありがとうございました。

本校では、学校の様々な教育活動について、学校側の評価だけでなく、保護者や地域の方々からのご意見をいただくことを基本姿勢としております。今回の結果やご意見につきましては、今後各種会議の資料とするとともに、今後の学校運営に活かしてまいります。

1. 評価結果について

- 1 「よくあてはまる」と2 「だいたいあてはまる」の割合の合計について、前年比「5%以上上昇の場合は増加、5%以上下降の場合は減少、5%以内は変化なし」とします。

生徒の集計結果より資料1-1

回収率88.7% 全校生徒311名 <回収1年：92名 2年：86名 3年：98名>

質問24項目のうち前年比増が10項目、減少が0項目、変化なしが14項目という結果でした。

保護者の集計結果より資料1-2

回収率43.9% 全世帯数296世帯 ※兄弟がいる場合、上の子の学年で回答

質問26項目のうち前年度比増加が7項目、減少が2項目、変化なしが17項目という結果でした。

I 「学校教育目標や理念」

No. 1～3は、学校教育目標や教育理念を理解し、学校に登校できているか、という設問となります。学校へ行くことが楽しい、また楽しみにしているとの回答が生徒、保護者ともに8割を超えていることに安心する一方、あまりあてはまらない、あてはまらない、わからないを含めると1割以上の生徒がいることにしっかりと向き合い、今後も子ども一人ひとりを大切にし、自ら未来を切り拓く、自立した生徒の育成に向けた学校づくりに努めてまいります。

II 「教職員の姿」 III 「教科指導」

No. 4～9は、教職員の姿、教科指導の部分となっています。生徒たちが悩みを相談しやすく、認められていると感じる割合が昨年度より数値が伸びていることは、教職員の日頃の関わりが伝わっていると感じ、励みになります。また、教科指導においては、基礎基本の定着から生徒の主体的な学びまでを想定し、生徒にとって「学ぶことが楽しい」「分かる」授業に向けた工夫を今後も行なってまいります。また、ICTを効果的に活用しながら、全ての生徒にとって分かりやすい授業や支援のあり方を考えてまいります。

IV「道徳・特活・総合的な学習の時間」

本校の道徳教育目標にある心豊かな自己確立を目指す生徒の育成に向けて、各学年、身につけさせたい力を明確にし、道徳の時間だけでなく、教科横断的にも取り組んでおります。また総合的な学習の時間における取り組みも、生徒自身が学びを深められるような工夫を行いました。しかし生徒の意見に「道徳の時間をもっと多く設ける」、職員の意見も「考える機会を設けている」割合が昨年に比べ低くなっているため、今後、見通しを持った授業が展開できるよう努めてまいります。また生徒の活動や意見、思い等に関しましては、保護者の皆さまに発信できる機会を増やしていきたいと思っております。

V「進路指導」

No. 12 進路選択に関する項目については、学校からの進路選択における情報提供につきまして、各学年、自立に向けての取り組みを計画的に行っております。1年で自分の良さを知り、2年生でキャリア教育、3年で具体的な卒業後の進路、進学指導を行っています。実際に体験や見学を重ねながら、生徒自身が考えを深められるよう、今後も生徒の様子や、時代に即した指導を行ってまいります。

VI「行事・課外活動」

No. 13～15の行事や生徒会活動についての項目では、生徒の自由記述にもあるように、学校行事が楽しい、他学年との交流が多い、(行事を通して)生徒同士が協力や成長している等の肯定的な意見が多く、どの行事にも前向きに取り組む、充実した時間となっていることが分かります。また、保護者の皆さまにも多くの行事でご協力をいただき、感謝申し上げます。

行事については、保護者の皆さまからさまざまなご意見をいただきました。生徒の実態に合わせてより良いものとなるよう検討してまいります。

No.16の部活動については現在、大きな転換期をむかえています。学校の設置者である藤沢市も部活動のあり方について検討し、新たなガイドラインも策定されました。中でも、安全を第一に、技術だけでなく心の成長にも寄与できるよう、努めてまいります。今後もいただいたご意見を参考に、地域の方々と協力しながら、子どもたちのために学校ができることを行ってまいります。

VII「生徒指導・支援」

各学年で目指す生徒像や身につけてほしいルール等を明確にしなが、対話を大切に、生徒の思いを受け止めるよう努めてまいりました。中でも、時として毅然とした対応で生徒指導・支援を行う必要があります。その際は、家庭や地域の皆さまにお力をお借りすることがあるかもしれません。ご協力をお願いします。また、その後につきましても継続して様子を見守ってまいります。No. 18の先生たちが生徒の困りごとに対応してくれるという問いに、20%以上の生徒が分からないと回答している状況は、不安を抱えている生徒や相談できないと感じているとも捉えることができるため、今後もアンテナを高く、生徒に寄り添った指導・支援を行ってまいります。

VIII「その他」

No. 23 は、学校施設に関する質問です。肯定的な意見は低い項目ではありますが、昨年に比べ、生徒、保護者ともに10～20%アップしています。理由としては、生徒の意見にもあるように、掃除がしっかりとできていて、清潔であるということがあげられます。日頃の清掃への取り組みが建物を大切に扱う意識となり、校内の落ち着いた学習環境へとつながっています。今年度は特別教室や体育館へ空調が整ったことで、過ごしやすい環境となっています。今後も教育委員会とも連携して、安全安心な教育環境となるよう努めてまいります。

2. ①生徒の主な自由記述【良い点】

- 学校全体・学年全体仲がよいところ（多数）
- あいさつをする（多数）
- 礼儀正しく笑顔
- 他学年との交流がおおいところ
- 先生たちは生徒の意見をよく聞いてくれる
- 清流祭や芋レクなど、大清水中学校ならではの学年、や学校全体で盛り上がることのできるイベントがたくさんあるところ
- 感謝・努力・創造力を活かした行事を通して、生徒同士が協力や成長している
- 年齢関係なく友達でも先輩でも仲良く学校生活を遅れているのがいいところだと思う。授業も楽しく学んでいると思うから学校が全体を通して楽しくなっている
- 体育祭では、先生に頼らず先輩たちと交流しあい考え、工夫しながら仲良くなれてすごくいい時間だった。こどもたちだけでやることによって新しい発見や気づきが生まれて、すごくいい経験になったから。
- 部活などを通して先輩後輩の仲が良く、行事などでも他学年との交流が盛んであること
- 先生に限らず先輩たちも困っている時すぐに助けに来てくれて、すごく優しくて良いと思いました
- 少人数教室があり少ない生徒に対して先生が教えてくれる回数が増える（生徒が大勢いると先生が回ってくる回数が少ない）
- トイレが綺麗
- 掃除がしっかりとされている
- 困っていることがあったら何事にも真剣に対応してくれる担任がいること
- 先生が優しく、生徒との距離が近い
- みんな元気で明るい
- 教育理念
- 服装が自由なところ
- （生徒数が）少人数なところ
- 授業がわかりやすい
- 校舎がきれいで清潔
- 責任が持てる人には自由がある
- 先生や外から来た方にも挨拶ができています

②生徒の主な自由記述【課題・提案】

- 学校全体での交流の場があるとよい
- もっと清流祭を長く盛り上げられるようにしてほしい
- 昼休み、給食、休み時間がもう少し長いと良い
- メリハリをつける
- 自分で考えて行動できるようにする人が増えたら良いと思います
- 授業中に勝手に喋っている生徒がいるのでもう少し厳しめに注意した方が良いんじゃないかと思った
- レクや行事を増やす
- 挨拶を増やす

- いつもご指導等ありがとうございます。教育活動の中で挨拶運動や3校交流は子供たちにとって、とても有意義な時間を過ごしていると思います。この地域ならではの取り組みで小、中、高の子供たちがみんなで触れ合う機会があまりなく、この活動を通じて成長や何かを感じる事が少なからずあると思います。娘も小学校からこの3校交流の話はよくしてくれました。高校合併後も方針が変わる事なく続けていって欲しい活動の一つです。
- 天災について積極的に取り組んでいただけるのはとても助かります。
- 1年生から宿泊があることがよいと思います。参観や面談の機会がしっかりあるのでありがたいです。
- 先生たちが本当に熱心で授業もそうですが、部活の応援も担当以外の部活も応援に来てくれたり、毎週クラスの様子と来週の予定を先生が忙しい中とても充実した内容のものをつくってくれるおかげで反抗期の子供が今何に取り組んでいるのかが見えて本当に感謝しかありません。
- 担任先生が熱心で思いやりがあります
- 先生によっては、よく相談を聞いてくれたり、アドバイスくれたりしてくれる。担任の先生はとても親身に友達関係の相談や進路の相談も聞いてくれると聞きました。一生懸命生徒に向き合ってくれてとても親としては嬉しいし、ありがたい存在です。

②保護者の主な自由記述【改善提案】

- 教育活動ではありませんが、大清水の会について。先日の合唱祭で、ボランティアをしていた2年保護者複数人が、ビデオカメラで撮影していました。大清水の会で活動するとそういう特権があるとは思えませんので保護者側の問題ですが、苦情があったことを会にご連絡頂けたら幸いです。
- ハンディファンの持ち込みが禁止されていると聞いているが、他校で認められている所もあるようなので、時代に合った柔軟な判断をしていただきたい。
- 以前の大清水中学校は指定服はあくまで式典などがあるときで、それもふさわしいものであればという時代があったと思うのですが、ジャージが常でテストと式典が指定服では自分でふさわしい服装を考える自由で自立した校風から少し型通りになってしまったのかなと思っています。
- 体育祭、午後が大縄跳び大会なのをやめてほしい
- 体育祭について、卒業生も観覧希望。子供達にとってお世話になった先生方や同級生に会え、高校1年生でストレスを感じている子にとっては、同窓会気分が味わえ少しでもリフレッシュが出来るのかな？…と思ったのでご検討頂けると嬉しいです。
- 鼻をかんだティッシュを捨てるゴミ箱すらないと聞いた事があります。せめて小さなゴミ箱ぐらいはあっても良いのでは、と思います。
- 部活動において、顧問が勝つ事を良しとしている。上手な子には場を設け、下手な子は脇や廊下で練習をさせられていると聞いた(他学校での練習などで)きちんとした練習が上手な子に比べ少ない。その結果、上手な子が下手な子に対し、上から目線の態度をとっている。本来の部活動は、みなで協力し高め合っていく事ではないか。
- 体調不良なのでお休みした分の授業をどんなことをしたか、提出物のことなどを生徒に教えて頂けたらありがたいです。
- 塾に行く子どもが近年増えているからか、進路指導が私たちの世代(親世代)よりも頼りない気がする。うちは塾に行かせない予定なので少し心配です。また、理科・数学など授業内で基礎的な内

容が多いような気がする。応用問題もたくさん授業でやってほしいと思う。テストには応用問題が出されているので、塾には行かず学校の授業だけの子も授業と学校のワーク等先生に言われた範囲をしっかり頑張れば点数が取れる・受験にも対応できるものにしてほしいです。

- 改善などはありませんが、親の中から子供達に何か発信出来る機会などがあるとよいと思います。親、子供の座談会みたいな。もちろん何かテーマが都度必要かと思います。
- 委員会決めがやる気アピールだとなかなか手が挙げられない人もいると思うので、後期は前期に委員会やらなかった人を優先にするなど、気遣いいただきたいです。役割が人を育てるところがあるので。
- 部活動が短く、顧問とのコミュニケーションが上手く取れてるか気になります。
- 子どもの主体性が育つよう、先生の意見を押し付けるのではなく、活動を見守り、ときに子どもたちをサポートして頂きたいです。
- 体育祭では先生たちが真剣に走るリレーが見たかったです。
- 先生方の働き方等あることも重々承知している中で、部活動をもっとやりたいといっている生徒、真面目に取り組んでいる生徒がいることは知っておいてほしい。
- 授業参観した際、先生自身の雑談が多く、先生自身授業内容がわかりづらかった。他クラスとの差がでないか心配。
- 学年便りなど、すぐ一で配信してほしいです。
- 提示服の在り方、ジャージに刺繍することでリサイクルが難しく、登下校中に名前を知られるおそれもある。提示服やジャージのお下がりについても検討していただきたい。
- 大清水体操と輪の演技とどちらも素敵でしたが、男女は分けずに希望制にしてはどうでしょうか。社会問題的なこともあると思うので。

4. 保護者の方からの自由記述について

お忙しいところ、子どもたちの成長を願ってのご意見をいただき、ありがとうございます。いただいたご意見を全て校内で共有しております。その中でも【改善提案】にいただいた事柄に関しては、真摯に受け止め、学校全体で検討してまいります。

5. 学校運営協議会（1月29日実施）からのご意見

<質疑および意見・提案> 意見… 質問… 回答… 回答に対する意見…

保護者が生徒（子ども）とどれくらい家庭で学校の話をしているのか。「分からない」という回答は、ご家庭でコミュニケーションがとれていないことの表れだとすると、子どもとのコミュニケーションがとれているか「高いー低い」の問いがあると良いのではないかと。**検討**

保護者からの意見にはどのように返すのか。

→該当教員へ話をする。

⇒学校としての見解を示す必要があるのではないかと。

機会をとらえて周知または発信

記名はどうなっていますか。

→保護者には任意としている。

⇒書かれている内容が、学校運営のことへの意見か、個人の意見か、やはり書く方にも責任が必要なのではないかと。**検討**

質 放課後学習はやらせてあげることができませんか。

→ 回 検討していきたいが、生徒が学校に残る場合は教員がつく必要がある。人的確保ができれば可能になることも。支援部でも検討してまいります。

検討

【まとめ】

今年度本校では、防災教育に力を入れて取り組んでまいりました。火災、地震等における訓練では、事前学習を行ったうえで、状況に応じて生徒自身が考えて行動することも目的に入れて取り組みました。本校の立地上、水害が起こる危険性は他の地区に比べ高いことも予想されます。生徒から水害時の避難経路に関する質問を受け、今年度見直しも行いました。東日本大震災を体験された方の講演を聴く機会や校外学習、出前講座など、多くの体験から生徒だけでなく教職員の防災意識も高まりました。今後も生徒が安心・安全に学校生活へ取り組めるよう努めてまいります。

学習指導については、学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、昨年に引き続き「ICTの効果的な活用」、生徒同士の学び合い、学習内容の基礎・基本の定着など、生徒一人ひとりの確かな学力の育成を目指して教育活動を行ってまいりました。支援の視点においても効果的な活用法があるのではないかと、教職員同士の研究も深めているところです。

生徒指導支援体制については、生徒に寄り添った指導支援を全職員で取り組んでおります。指導の面では、「いじめ基本方針」に則り、いじめは絶対に許さないという毅然とした対応、迅速な対応を心がけております。支援の面では、別室での学習支援やオンライン授業などの環境を整備し、個々に合わせた学習支援体制の充実に向けて取り組んでおり、登校に不安を抱える生徒を対象に設立した「校内支援センター」には支援員が常駐し、丁寧な寄り添いを続けてまいりました。地域のみなさまの力をお借りしてのサポートも行いました。ご協力ありがとうございました。今後、改善を重ねながら、全ての生徒にとっての支援の場としていきたいと考えております。なお、オンライン授業での出席の扱いについては、保護者と確認し連携が必要となります。「校内支援センター」の利用につきましても、まずは学校（担任）までご相談ください。

そして、学校評価における自由記述では、温かい励ましの言葉をありがとうございました。保護者のみなさまの言葉が教職員にとって次につながる糧となっております。感謝申し上げます。

一方、ご指摘を受けた点やご要望のひとつひとつを真摯に受け止めております。機会を捉えて検討した事項の経過や結果等を発信してまいります。そしてこれからも、教員の資質向上に努め、生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、教育活動を行ってまいります。保護者の方々と一緒に、子どもたちの成長を支えていきたいと思っております。

今回の結果を踏まえて、今後も生徒が充実した学校生活を送れ、保護者・地域の皆様から信頼される学校を目指して、授業をはじめ様々な取組の改善を行い、より良い学校づくりに努めてまいります。